

会議・打合せ等記録

市 長	副市長	部 長	次 長	課 長 等	補 佐	係 長 等	担 当

報告日：令和7年10月30日

名 称	令和7年度第3回次期総合計画審議会
日 時	令和7年10月29日（水）10時00分～12時00分
場 所	鹿沼市民情報センター 3階会議室
出 席 者	<p>【委員】</p> <p>別紙のとおり</p> <p>【事務局】</p> <p>市長、福田副市長、中村教育長、齋藤秘書室長、秋澤総合政策部長</p> <p>益子行政経営部長、関口市民部長、青木保健福祉部長、杉山こども未来部長</p> <p>竹澤経済部長、大場環境部長、柏崎都市建設部長、塙建築担当参事</p> <p>北島上下水道部長、柿沼会計管理者、若林消防長、佐藤教育次長、</p> <p>小太刀議会事務局長、湯沢危機管理監、湯澤選挙管理委員会事務局長兼監査委員事務局長</p> <p>総合政策課：佐藤課長、金子課長補佐、青木主査、佐藤主査、羽石主査、高木主任主事</p> <p>○ 開会（進行：佐藤課長）</p> <p>○ 会長あいさつ</p> <p>○ 市長あいさつ</p> <p>○ 議事</p> <p>「第9次鹿沼市総合計画の構成」について</p> <p>「総合計画策定にあたって <案>」について</p> <p>「鹿沼みらいビジョン（基本構想）<骨子案>」について</p> <p>○ 審議</p> <p><黒子委員>NPO 法人レインボー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要なサポートが必要な方に届きにくいと感じている。発信側だけの目線のみでは届かない。 ・子育て世代などの意見を拾って策定してほしい。 <p><辻井委員>鹿沼市移住コーディネーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数値目標の設定が必要。策定した計画の振り返りを実施するとき、数値的な目標があれば可視化しやすい。 <p><橋本委員>鹿沼地区幼稚園連合会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画内で少子化対策がどう表現されるのかに注目している。また、実務者の意見を聴取する機会を設定するのも施策のひとつと考える。 <p><鈴木委員>鹿沼青年会議所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人出不足、若手不足は市内多くの企業が抱える問題。 ・就職先の不足、低賃金により若者が首都圏に流出してしまう。 ・地元民とは異なる、若者ならではの新しい価値観を取り入れ、若者が鹿沼市で働きたいと思えるような施策が必要。

会議・打合せ等記録

市 長	副市長	部 長	次 長	課 長 等	補 佐	係 長 等	担 当

<宇賀神委員>建設業協会鹿沼支部

- ・漠然とした内容ではなく、具体策まで踏み込んだ審議が必要。
- ・資料 3-7p において、まちづくりのテーマが 6 つ示されているが、優先順位を付けて施策を推進するべき。

<渡邊委員>NPO 法人かぬま市民活動サポーターズ

- ・資料 2-1p 下から 3 行目の「新しい価値」について。計画において言及されるのか。
- ・資料 2-15p②子どもを取り巻く環境の変化について。「変化」が家庭や暮らしだけが要因と読めるが、社会側の変化による要因も含めるべき。
- ・資料 2-15p③④の「市民活動団体」という表現について。「NPO 法人」という言葉も入れていただきたい。
- ・資料 2-16p⑤の「LGBTQ」という表現について。現在「LGBTQ+」「SOGI(ソジ)」という言葉が主流である。表現を再検討すべき。
- ・資料 2-17p⑨下から 2 行目（「AI」の活用～）の一文から（自然とのふれあいや実体験～）が飛躍している。
- ・資料 2-17p⑩の SDGs のゴールについて。第 9 次総合計画開始時、ゴールまで 4 年になることを見越した表現を検討するべき。
- ・資料 3-7p まちづくりのテーマ 3 の「協働」という記載について。「協働」の視点はテーマ全てに入れたほうが良い。
- ・資料 3-7p まちづくりのテーマについて。「市民が主役」という点を考えると「市民自治」という言葉がどこかで表現されると良い。

<本間委員>鹿沼ケーブルテレビ(株)

- ・幅広すぎて分かりにくい。
- ・資料 3-7p まちづくりのテーマは鹿沼市独自ではなく、どの市町にも言えることではないか。鹿沼の特長をよく考えて、絞ってテーマ設定したほうが実現に近づくと思う。また、市民にとっても分かりやすい。

<板橋委員>鹿沼市消防団

- ・資料 2-2~3p の和暦西暦の表現について。和暦をローマ字表記ではなく、日本語で記載したほうがよい。
- ・表記を(S〇〇<19〇〇>~S〇〇<19〇〇>)⇒(昭和〇〇~昭和〇〇(19〇〇~19〇〇))とした方が分かりやすい。
- ・資料 2-16p⑤4 行目「パートナー&～」や資料 2-17p「GX」など、一市民からすると分からない言葉が多い。
- ・資料 3-6p の図について。この図を見ても、どの線が何を表わしているのかが分からない。

<増淵委員>鹿沼市議会

- ・第 8 次計画と比較すると分かりやすい。
- ・資料 1 からは「みらい」という言葉が本計画におけるキーワードであることを理解した。

会議・打合せ等記録

市 長	副市長	部 長	次 長	課 長 等	補 佐	係 長 等	担 当

- ・資料 1◆鹿沼みらいビジョン（基本構想）3.(1)大地の保全と活用(2)水資源の保全について。郷土愛が表現されたことは素晴らしい。
 - ・資料 1◆鹿沼みらいビジョン（基本構想）1.(1)●"みらい"に向かって（「協働・共創」、～について。未来は若い世代が作るものにもかかわらず、計画に記載がない。また、鹿沼市における協働・共創の実態は、自治会長や民生委員など実施者が限定的であり、他の市民に広がらない。そのことを協働・共創と表現しても発展性がないと思う。
 - ・本間委員の意見について。行政としてまちづくりのテーマを絞ることはできないが、優先順位を付けることは同意できる部分がある。
 - ・本計画を策定するにあたり、数多くのタウンミーティングなどを実施し吸い上げた意見をまとめることは大変なことだが、聴くだけではなく、実行することをビジョンに入れるべき。
 - ・情勢は常に変化するが、それに瞬時に対応できる行政としての姿勢を構想に入れることが大切だと思う。
 - ・子育て世代など若者世代の意見を市政に反映することが、定住人口の促進に繋がると考えている。
- <石川委員>鹿沼市議会
- ・資料 2-4p の計画イメージ図について。総合計画全体の説明が有るとわかりやすい。
 - ・資料全体を通して、色が色弱の方にとって見にくい可能性がある。
 - ・資料 3-7p まちづくりのテーマにおける「みんなが」という表現について。表現方法がきつーと感じた。「みんなで」の方がテーマのイメージに近いのではないか。「みんなが」は、「やりなさい」という強制的なニュアンスに見える。
- <谷中委員>鹿沼市議会
- ・「協働」というワードを使いすぎているのではないか。
 - ・主導は市。まずは、理想の鹿沼市のための市側の考えを市民に示すべき。それに対して、市と一緒にやろうという姿勢であるべき。
 - ・市民は「協働」と言われても、何をすればよいのか分からない。
 - ・まずは、市が鹿沼市のために頑張るという姿勢を総合計画で示すことで、市民へも「協働」の考えが波及していくはず。
 - ・資料 3-7p まちづくりのテーマの 5 における「快適なまち」の表現について。現在の道路状況など改善すべきことがある中で、資料 3-6p の交流ネットワークの形成を進める等の表現は、現実的ではないと感じる。
 - ・資料 3-7p まちづくりのテーマは、これまでの計画で達成できたこと、第 9 次計画で力を入れたいことを分かりやすく表現してほしい。
- <羽布津委員>なんたい地域協議会
- ・市内で働く者が少ないと感じている。
 - ・鹿沼市内の労働環境を改善してほしい。それが市の賑わいに繋がると考えている。
 - ・防犯の強化が必要。夜でも明るいまちにしてほしい。

会議・打合せ等記録

市 長	副市長	部 長	次 長	課 長 等	補 佐	係 長 等	担 当

＜渡辺委員＞かぬまマイ・カレッジ

- ・転出超過の解消がすべてに通じると感じている。働く場所、交通の利便などが整っていれば、鹿沼市に定住したいと思えるはず。
- ・本当に助けが必要な方に助けがいくのか疑問に感じた。また、現在幸せな人しか幸せにならないのではないか。それぞれが幸せになれるような計画であってほしい。

＜保田委員＞鹿沼相互信用金庫

- ・資料 2-15p②5 行目（安心して子どもを～）について。大切な鹿沼の子どもたちが、故郷で楽しく遊んで育つことができる環境づくりという表現を入れてほしい。
- ・資料 2-16p⑥8 行目（これまで培った～）について。事業の継承という視点も盛り込んでほしい。
- ・「鹿沼みらいビジョン」をはじめとして、「みらい」をひらがな表記にした意味が知りたい。
- ・資料 3-5p の図について。直感的に分かる工夫をしてほしい。
- ・資料 3-7p まちづくりのテーマについて。石川委員と同意で「みんなが」は強い表現と感じた。「鹿沼で」など表現方法を検討してほしい。

＜上澤委員＞鹿沼市民生委員児童委員協議会連合会

- ・人口動態から独居老人や天涯孤独者が増加することは明白。それに伴う公的な支援制度があるが、使いにくい、使い方が分からないという問題がある。誰もが、安心して天寿を全うできる仕組み作りをしてほしい。
- ・少子化について、これまで様々な施策を打ち出しているが、30 年余り改善が見られない。施策の方向転換が必要ではないか。
- ・駅前の活性化について、もっと大胆な計画をしないと改善しないと感じている。
- ・資料の用語が分かりにくい。用語の注釈を付けるべき。

＜渡邊委員＞鹿沼市文化協会

- ・資料 3-7p まちづくりのテーマ 3 について。再発見だけではなく、既存のものを発展・向上させるということも誇りである。
- ・資料 3-4p(2)水の保全と活用について。南摩ダムを飲用水に使わないと読める。確認して、表現方法を検討してほしい。
- ・委員から、基本構想が曖昧であるとの意見があるが、計画のつくりからすると適切である。
- ・資料 3-2p の都市イメージについて。鹿沼市の意思を持った表現を入れてほしい。

＜岡田委員＞鹿沼市 PTA 連絡協議会

- ・資料 3 鹿沼みらいビジョン（基本構想）＜骨子案＞について。第 8 次よりは見やすくなったが、変わり映えがしないと感じた。きれいな言葉を並べるのではなく、鹿沼市として実施することを明確に表現すべき。
- ・計画策定後の PDCA サイクルをどう回すか、市として考えるべき。
- ・基本構想の中心は子どもたちであるべき。子どもたちの思いを取り入れる仕組みを検討してほしい。

会議・打合せ等記録

市 長	副市長	部 長	次 長	課 長 等	補 佐	係 長 等	担 当

	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿沼市としてのまちづくりの方向性が読み取れない。 ・「Made in 鹿沼」について。新規参入しにくいと感じている。 <p><江田委員>鹿沼市スポーツ協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山の 8 合目から 7 合目は杉ヒノキではなく、雑木にしてもらえば自然との共生が実現するはずである。 <p><渡辺委員>鹿沼市森林組合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区ごとに異なる問題を抱えている。市からその地区に合った基本構想を提示することで、協働共創が進むと考えている。 <p><中村会長>宇都宮大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な話から大きなスケールである構想的な話、キーワードに関すること様々な意見を聴くことができた。 <p>○ まとめ</p> <p><市長></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 8 次計画までと作りと大きく変えている。 ・鹿沼市の今後 10 年を展望するストーリーについて、市としての思いが審議会委員にどう伝わるかが、市民へどう伝わるかのバロメーターになることを学ばせていただいた。 ・様々な角度から鹿沼市の今後 10 年を考えていかなければならない。 ・まずは、本日の意見を率直に受け止め、策定している計画に反映できる部分、市としての意見を通すべき部分を次の審議会で示したいと考えている。 ・次回は、基本計画の概要までを審議する予定であることから、さらに具体的な意見が出ることを期待している。 ・本日の各分野に関する意見については、出席している各部局長が全て受け止める。 ・出席していただいた全ての委員に感謝を申し上げる。 <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見シートの提出は 11 月 5 日（水）までにする。 ・第 4 回は 11 月 12 日（水）18 時から鹿沼市民情報センター 3 階 会議室で開催。 <p>4 閉会</p>
配布資料	<p>資料 1「第 9 次鹿沼市総合計画の構成」について</p> <p>資料 2「総合計画策定にあたって <案>」について</p> <p>資料 3「鹿沼みらいビジョン（基本構想）<骨子案>」について</p>
記 録 者	総合政策課 高木
<p>鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第 2 条に基づく審議会等の公開状況</p> <p>（該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要）</p>	
公開・非公開の別	<div>公 開</div> ・ 非公開
（公開の場合）傍聴人数	
1 人	

第3回次期総合計画審議会 出席者名簿

氏名	所属	条例
黒子 悦子	NPO法人レインボー	1号委員
辻井 まゆ子	鹿沼市移住コーディネーター	1号委員
橋本 慎平	鹿沼地区幼稚園連合会	1号委員
中村 祐司	国立大学法人宇都宮大学	1号委員
鈴木 亜深	一般社団法人鹿沼青年会議所	2号委員
宇賀神 勝	一般社団法人栃木県建設業協会鹿沼支部	2号委員
渡邊 博和	NPO法人かぬま市民活動サポーターズ	2号委員
本間 朱実	鹿沼ケーブルテレビ株式会社	2号委員
板橋 真美	鹿沼市消防団	2号委員
渡辺 保	鹿沼市森林組合	2号委員
江田 光好	鹿沼市スポーツ協会	2号委員
岡田 雄豪	鹿沼市PTA連絡協議会	2号委員
渡邊 克明	鹿沼市文化協会	2号委員
上澤 孝重	鹿沼市民生委員児童委員協議会連合会	2号委員
保田 江美	鹿沼相互信用金庫	2号委員
渡辺 順子	かぬまマイ・カレッジ運営委員会	2号委員
羽布津 章義	連合栃木なんたい地域協議会	2号委員
谷中 恵子	鹿沼市議会	3号委員
石川 さやか	鹿沼市議会	3号委員
増渕 靖弘	鹿沼市議会	3号委員